

群馬東部水道企業団太田本所建設事業

基本設計図書概要版

令和6年8月

株式会社石井設計



ISHII Sekkei

■ コンセプト

庁舎建設基本理念

1. 利用しやすく親しみやすい快適な庁舎
2. 住民の生活を守る安全・安心な庁舎
3. 長期間にわたって使用できる効率的で経済的な庁舎
4. 地球環境に優しくエコな庁舎



企業団の「水道ビジョン」を叶える

「水のみち」と「緑のみち」で **未来**をつなぐ庁舎

■ 計画概要

敷地概要

建設地	群馬県太田市下浜田1088番2
工事種別	新築
敷地面積	6,721.03 m ²
法定建ぺい率	70%(60%+10%角地緩和)
法定容積率	200%
周辺道路現況幅員	市道2級45号線(東側)16m 市道太田庄屋町下浜田184号線(北側)8m 市道太田下浜田榎町187号線(西側)8m
区域指定	都市計画区域
用途地域	準工業地域
日影規制	建物高さ10m以上の場合、指定有り
防火指定	指定無し

建物概要

主要用途	庁舎
工事種別	新築
建築面積	1,138.26 m ² (基本設計時)
延床面積	2,981.49 m ² (基本設計時)
階数	地上3階
高さ	12.65 m (基本設計時)
構造種別	鉄骨造
耐火建築物等	準耐火建築物ロ-二
防火対象物	15項(事務所等)
消防設備	屋内消火栓、自動火災報知設備、消火器、誘導標識 消防機関へ通報する火災報知設備、 (人まち条例の適合証取得のため、誘導標識は誘導灯とする)

付属施設概要

主要用途	倉庫、車庫、ごみ置場
工事種別	新築
建築面積	401.56 m ² (166.47m ² 、122.74m ² 、103.56m ² 、8.79m ²) (基本設計時)
延床面積	401.56 m ² (166.47m ² 、122.74m ² 、103.56m ² 、8.79m ²) (基本設計時)
階数	地上1階
高さ	4.0 m (基本設計時)
構造種別	鉄骨造
耐火建築物等	その他
防火対象物	13項イ(自動車車庫)、14項(倉庫)
消防設備	消火器、誘導標識



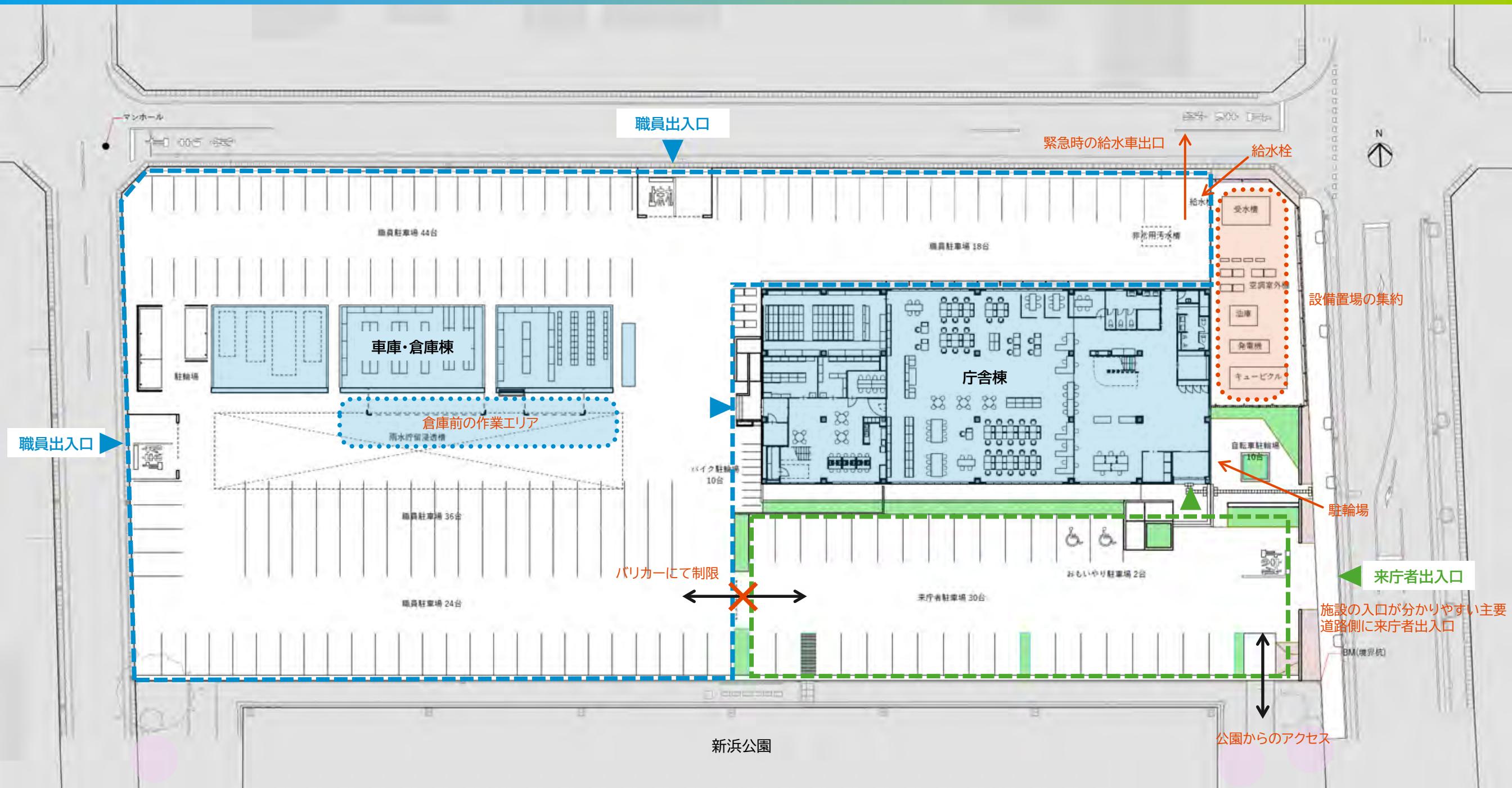
庁舎棟

車庫棟

倉庫棟1

倉庫棟2





■ BCP設備計画

地震などの災害が発生した際、事業を迅速に再開させるためにそれぞれの設備の設置を計画します。



耐震型受水槽(イメージ)



非常用汚水槽(イメージ)



発電機(イメージ)



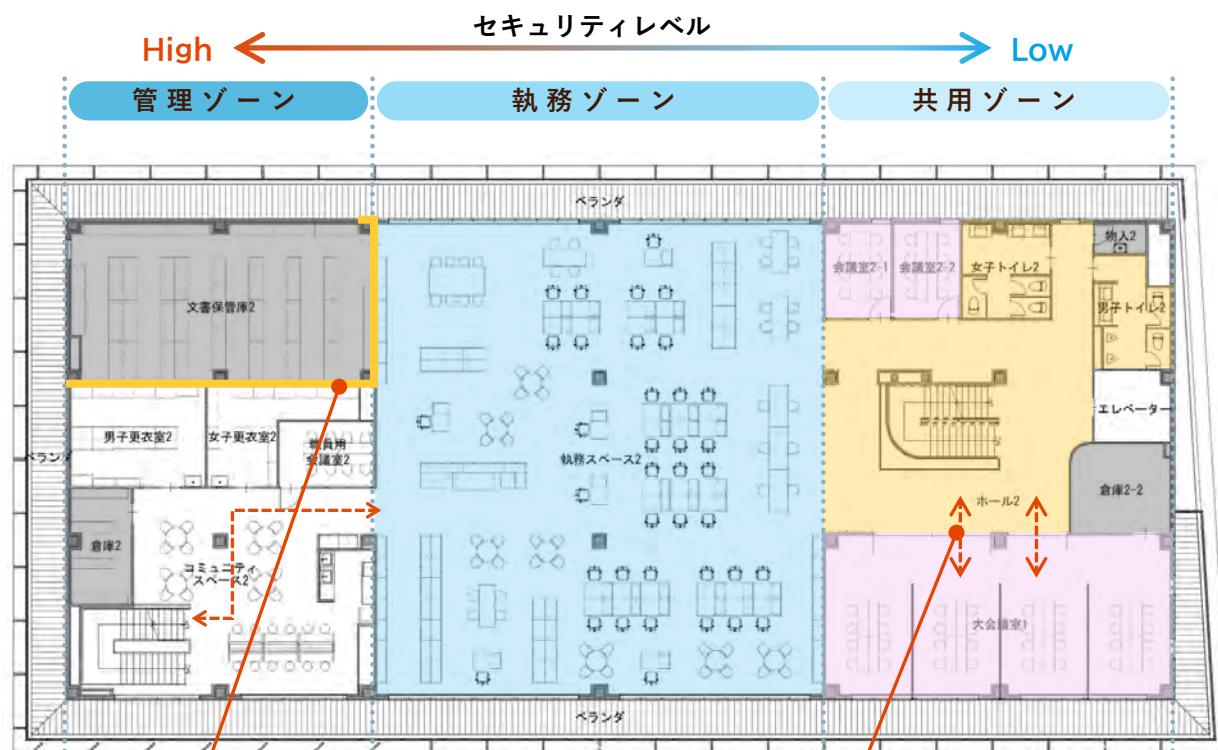
太陽光発電(イメージ)

■ 配置計画

計画地は、周囲に住宅や工場、店舗等、様々な用途が混在する市街地のなかでも、桜の木々に囲まれた新浜公園に隣接しています。その南に開けた眺望と連続性を持たせ、行政施設でありながらも開放的な配置計画とします。

車庫・倉庫棟は別棟にて計画し、前面には作業エリアとしての空地为を計画します。北側に駐車スペースを設け、南側に建物を配置することによって、北側の住民への日影の影響を抑える計画とします。駐車場は来庁者用と職員用を明確に区分けし、それぞれが利用しやすい駐車場を計画します。

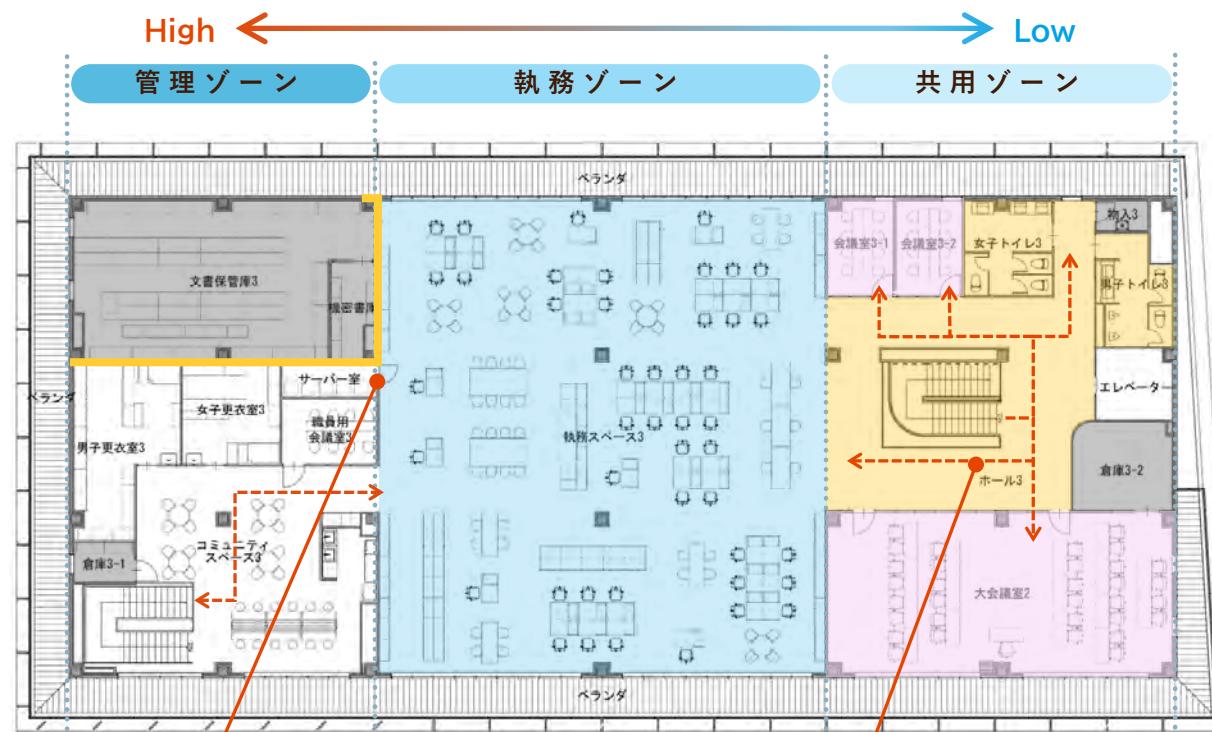
■ 各階平面計画



書類を守るため耐火仕様の壁

他の階の職員も気軽に立ち寄って利用できるよう開放されたホール

2階平面図



入室制限にてセキュリティを強化

ホールの中心に配置された階段によって庁舎内の各部屋にアクセスしやすい

3階平面図



ホールへの視認性が良い

職員のコミュニケーションを促進するため、コミュニティスペースを通る動線を計画

1階平面図

■ 共用部計画

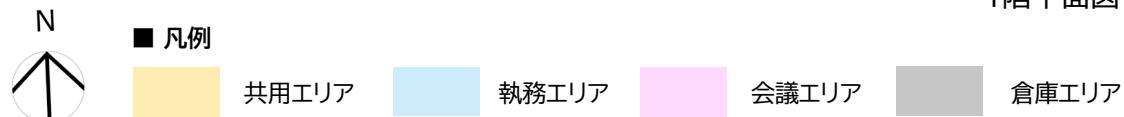
業者や市民など来庁した様々な人の利用が予想される共用部は人にやさしい福祉のまちづくり条例の基準を満たすよう各通路幅や設備を計画しています。

また、さまざまなケースを想定したサイン計画や会議室の整備を行うことで、来庁者と職員どちらにとっても利用しやすい共用空間としています。



■ 凡例

人まち 人にやさしい福祉のまちづくり条例整備項目によって設けた設備





「よい水は よい土（環境）から」

建物南側



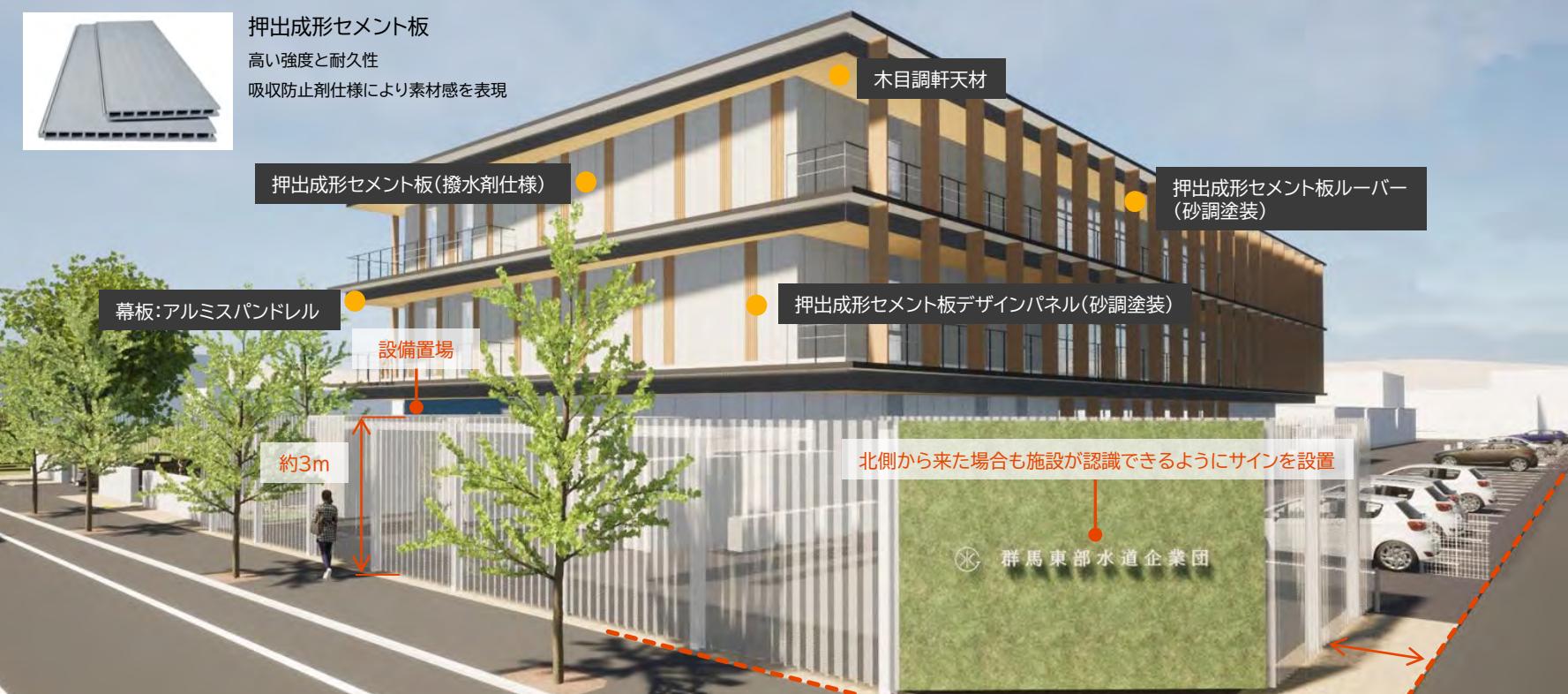
押出成形セメント板ルーバー（砂調塗装）
外壁と同じ基材に砂調の塗装
よい水をつくる土を表現



建物北東側



押出成形セメント板
高い強度と耐久性
吸収防止剤仕様により素材感を表現



交差点の視界を妨げないよう、目隠し柵は敷地境界よりセットバックした計画とする

■ 内装計画

- ・SDGsの目標をもとに、持続可能で環境に配慮した内装材を積極的に選定します。
- ・ルーパーにはみどり市産の木材を積極的に使用します。
- ・コミュニティスペースなど人が多く行き来する所にはキズがつきにくい単層ビニル床シートを使用します。また壁には化粧ケイカル板を使用し、耐久性を高めます。



単層ビニル床シート(イメージ)



化粧ケイカル板(イメージ)

1階 ホール(執務スペース側)



待合スペースは執務スペースに対面しないよう配置され
来庁者と職員が程よい距離感を保つ

1階 ホール(風除室側)



中央に階段を設けることで壁等で視界を遮ることなく、広いホールを緩く分節した
階段の南側には各窓口対応の待合いや来庁者が作業できるラウンジのようなスペースを確保した

2階 コミュニティスペース



職員の食堂などを各階の動線上の開かれたスペースに設けることで、
小休憩や軽い打合せなどで利用しやすいつくりとした

■ 耐震性能の目標について

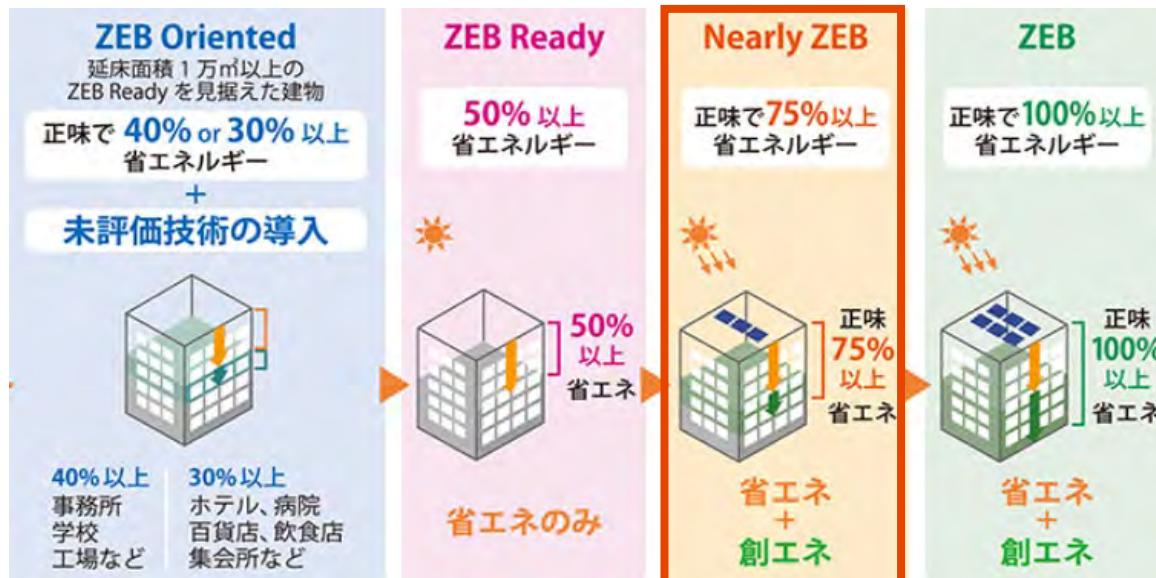
耐震安全性の目標は、**危機管理拠点(対策本部)としての機能を維持**できる「**Ⅱ-A-甲**」を目標として設定します。「Ⅱ-A-甲」では、**重要度係数は1.25倍**となります。

【国土交通省官庁施設の耐震性能の分類】

中小地震 【震度5】 30年	中地震 【震度6弱】 100年	大地震 【震度6強】 500年	巨大地震 【震度7】 1,000年	対象建物	国交省 分類	重要度 係数
無被害 【補修不要】	軽微な被害 【補修不要】	軽微な被害 【補修不要】	軽微な被害 【補修不要】	指定行政機関、指定公共機関 原子力施設など	I-A-甲	—
			小中破 【補修後使用可】	防災拠点、拠点病院など	I-A-甲	1.5
軽微な被害 【補修不要】	軽微な被害 【補修不要】	小中破 【補修後使用可】	大破 【再使用困難】	一般病院、避難施設、行政機関 民間本社機能など	Ⅱ-A-甲 Ⅱ-A-乙 Ⅱ-B-乙	1.25
	小中破 【補修後使用可】	大破 【再使用困難】	倒壊 【再使用困難】	一般の建築物 (建築基準法と同等)	Ⅲ-B-乙	1.0

■ ZEB認証

本計画では省エネと創エネを合わせて75%以上のエネルギーを削減する Nearly ZEBの認証習得を目指し、各仕様・設備を選定しています。



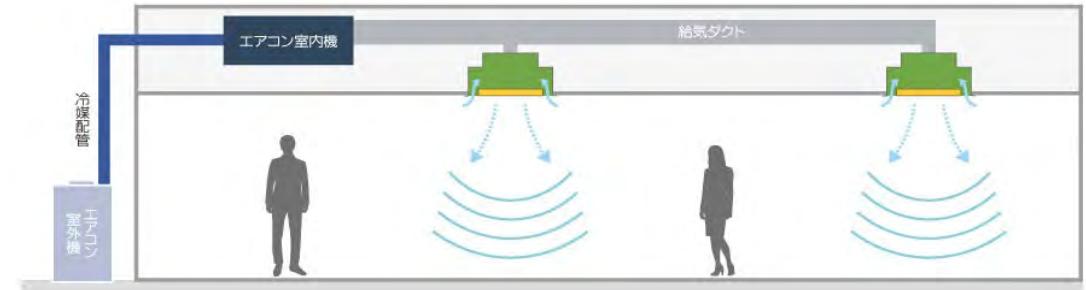
■ LED調光証明

ウェルネスオフィスの観点から、働く人の生活リズムを整えるため、太陽のリズムに合わせて照明の色温度を自動で制御するサーカディアン照明システムを計画します。また、調光のできる照明器具により、利用するシーンに合わせて照明の色温度を変えることができます。

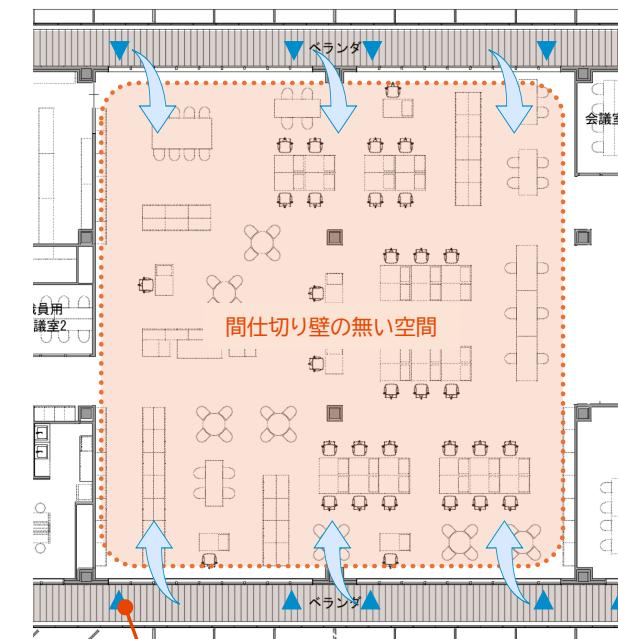


■ 放射パネル空調

放射パネルからの熱放射により、体に直接、風があたる不快感を感じず、室内全体を温度ムラなく包み込むように空調するシステムを計画します。暖房時には足元まで暖かく、冷房時にも冷えすぎることがありません。

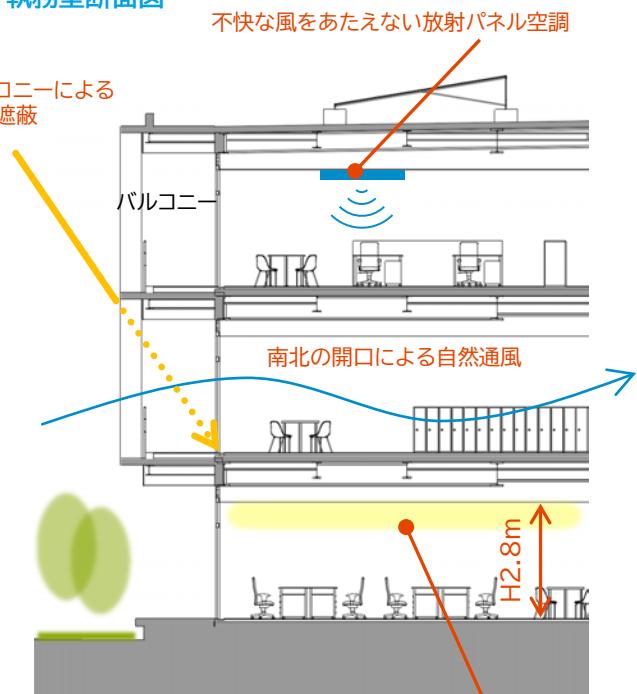


■ 執務室平面図



換気もでき、バルコニーへ出ることができる引き違い窓

■ 執務室断面図



タイマー制御でサーカディアンリズムを整える自然光のような調光